



第78号
発行
2009年
6月15日
本郷ふじやま公園
運営委員会

☆ ホームページは → 本郷ふじやま公園 → 検索

ノン・コンクリート、ノン・エアコン

エコに配慮した「竹の海原」



ふじやま公園も参加し、七夕を飾る開園博Y150のヒルサイドエリアでも準備が着々と進んでいます。旭区にある動物園ズーラシアの奥に、市内に繁茂する孟宗竹で作られたパビリオンの「竹の海原」が完成しました。これからいよいよ内装の工事にかかります。



使用した竹は、市民約700人が参加し、市内の竹林から伐採して屋根や外壁を構成しました。建物のどこかにふじやま公園の竹もあるはず。会期中は、市民による180ものプロジェクトが交代で参加する予定です。ふじやま公園では竹炭などを売るほか、七夕の竹を置いて訪れた人に短冊を飾ってもらう計画です。そして棚田や畑で農業体験もできます。

ぜひ横浜の自然を感じにお出てください。

会期：7月4日(土)～9月27日(日)、午前9時30分～5時30分
ただし、8月の毎週土・日曜および9月19日(土)～27日(日)
は午後8時30分まで。
ふじやま公園の参加は4日(土)～8日(水)



◆平成21年5月来園者数

団体・グループ来園状況

来園者数：〇〇〇〇名

(来園日)	(団体名)	(人数・内数)
9日(土)	小菅ヶ谷男性料理の会	13名
14日(木)	戸塚ふたば幼稚園	318名
16日(土)	横浜リクリエーション協会	25名
	：神奈川県歩け歩け協会	85名
18日(月)	未来塾	8名
19日(火)	中野幼稚園	180名
21日(木)	らくがき会	13名
22日(金)	中野幼稚園	180名

公園ウォッチング

公園ではウグイスにコジュケイ、ホトトギスとたくさんの野鳥が夏の到来を告げている。欒、コナラ、山桜の木々も葉を繁らせ大きくなり落ち着いてきた。

花は一気に咲き揃い、同時に雑草も勢いを増してきた。

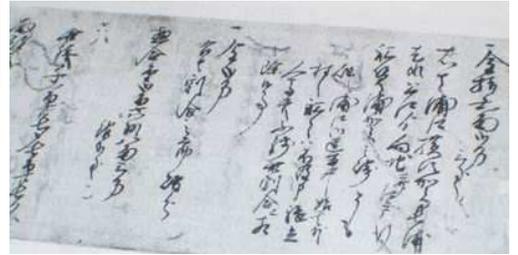
草むらではトカゲの親子が小さな穴から頻繁に出入りしている。

カラフルな色の“ホシベニカミキリムシ”にも遭遇した。5～6月は

古民家歴史部会「古文書解読勉強会」を訪ねて



今月は、事業部会のひとつである古民家歴史部会の古文書解読勉強会を訪ねました。この日の勉強会は6名。



小岩井家に保存された貴重な歴史的資料の解読という難解で緻密な勉強会で、資料は、天保13年(1842年)『御老中様方御始御役之様方海岸御見分中御旅宿御賄其外定例郡割合帳』。

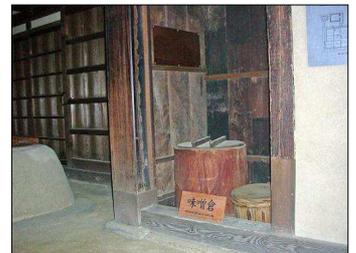
幕府の公文書は、御家流という書流で書かれているそうですが、文字を一文字ずつ拾うように読んでいくと、字面に気をとられて内容が全く分からなくなってしまうという繰り返しでした。

横浜が世界へと開かれ、近代日本が幕を開けた1859年。「開国博Y150」で盛り上がりを見せている横浜の歴史のなかに、静かに、歴史を紐解く時間は、古民家が語る時間そのものでした。

古民家Q&A 味噌倉

Q: 古民家土間右手に味噌倉がありますが役目は?

A: 味噌の一般的な醸造法は、大豆を水に浸したのち、蒸してつき砕き、米・麦・大豆などの麴と塩を混ぜてゆっくり発酵させます。空気を遮断された状態で、麴菌の働きによってたんぱく質からペプチド、アミノ酸、油脂からは脂肪酸、でんぷんからはブドウ糖(グルコース)などが生成され、これが独特の味と香りとなります。普通、仕込みを春から初夏に行い、ひと夏をすごして最低半年から一年し



て熟成し味噌として出来上がります。発酵には適切かつ変動の少ない環境が必要で、温度は30℃前後が好適といわれています。そのため相当の量を保存でき、温度変化が少ないいわゆる味噌蔵が必要になります。ここで1年から3年熟成させ、各家独自の味の味噌が出来上がります。相模では1年分が6斗という数字があります。

旧小岩井家の味噌倉(蔵でなく倉)は大きさ半間×2間半の広さがあります。一時的な貯蔵場所であるとともに熟成を続ける味噌蔵の

役目も兼ねたと思われます。



<赤レンガ倉庫18区故郷自慢 みて歩き>



5月13日(水)桜木町から赤い靴というバスに乗って赤レンガ倉庫を訪ねてみました。会場は横浜18区の各ブースが並んでそれぞれ自慢の展示?がなされていて、栄区は区の紹介や絵ハガキ、ふじやま公園の自然、古民家紹介のほかに竹の水きん窟が皆を

楽しませていました。中区は歴史展示と大正ロマンの格好をした女性が雰囲気盛り上げ、神奈川区ではブランドのチーズケーキ等の販売、都築区の名産小松菜の無料配布などあらためて横浜の魅力を体感しました。



..... ♣ 農芸通信 ♣



爽やかな緑の風と野鳥のさえずりを聞きながら作業が進みました。5月中旬に植えたサツマイモの苗は元気に起き上がり成育してきました。

(苗：葉が4～5枚付いている根の無い茎、長さ約25センチを斜めに寝かせて植えたものです) サトイモの発芽も順調のようです。

長ネギの丈は30センチ以上となり、場所を変えて深さ20センチの畝を作り定植しました。ネギの白い部分を長くする為にこれから3回ほど土を掛けます。



『いろいろ辺雑記』から (原文のまま)

- 部屋にいろいろ工夫がしてあって、一つ一つにびっくりしました。
- いつ来ても楽しいところです。お花がとてもきれいでした。



ホタルフクロ (キキョウ科)



花の形から「小さな鐘」ともいわれ、火垂る(ほたる)火を垂れ下げる意で昆虫のホタルもこの語源からきているようです。

初夏の時期、わずかな風にも花が揺れ風情があります。花の蜜を吸いに昆虫が入り、花粉を身体に付けて別の花を訪れ雌しべの柱頭に花粉を渡します。この種には、赤紫や白の変種もあり、高原などでよく見られます。



平成21年7月公園ボランティア活動予定

部会・事項	日 時	部会・事項	日 時
事務局会議	3日(金)	古民家歴史部会 部会	12日(日)
農芸部会 部会 作業	21日(月) 月曜日 木曜日	古文書解読勉強会 歴史探訪	5日(日)26日(日) 2日(木)
里山部会 作業	4日(土) 11日(土) 18日(土)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	5日(日)9日(木) 19日(日)
工作棟部会 部会 子ども工作準備	29日(水) 適時	クリーンアップ	7日(火)21日(火)
ホームページ制作打合せ		ふじやまだより編集会議	
		印刷	

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
篆刻	7月12日(日) 8月9日(日) 9月13日(日) 13時～15時	だれでもできる篆刻	500円	6月30日(土) 先着10名 3回コース
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	7月19日(日) 10時～12時 13時～15時	ゴムで飛ばすグライダーを 作ります。	無料	当日受付 10時～11時 13時～14時
押し花	7月21日(火) 13時～16時	押し花でタペストリー作り	2,000円	7月15日(水) 10名
ビーズ工芸	7月23日(木) 13時～15時	スワロスキーの指輪とイヤ リング	2,000円	7月15日(水) 10名
寺子屋 第11シリーズ	8月15日(土) 10時～12時	水のはなし(生命の根源)	無料	7月31日(金) 20名
第43回初心者茶 道体験教室 (表千家)	8月15日(土) 13時～16時	古民家で茶道を楽しんでみ ませんか。初心者大歓迎、 平服でお気軽にお越しくだ さい。男性の方もどうぞ。	500円	7月31日(金) 10名

- (1) 持参品：返信ハガキで連絡します。(2) 定員：12名。応募者多数のときは抽選。
 (3) 応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて応募
 期限までに本郷ふじやま公園へ

・・・お知らせ・・・

◀◀☆☆七夕祭りのご案内☆☆▶▶

日時： 7月1日(水)～7月7日(火) 9時～16時

古民家縁側に立てた笹竹にご来園の皆様にご願い事を短冊に書いていただき、取り付けて
 もらいます。

短冊を用意しておりますのでお出かけください。



・開館時間	：	9：00～17：00	・入館料：無料
・休館日	：	7月1日(水)	
・クリーンアップ	：	7月7日(火) 21日(火) 10時～11時	

★ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：896-0590 FAX：896-0593
 「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。

※ふじやまではボランティアを募集しています。参加希望の方は事務局までご連絡くださ
 い。